

2019年10月16日

「東京レールゲート EAST」の新設について

当社では、マルチテナント型物流施設第1弾の「東京レールゲート WEST」の建設を進めているところですが、このたび第2弾となる「東京レールゲート EAST」について、WTO 国際競争入札を実施し、実施設計・建設を行うこととなりました。

2020年2月の竣工に向け工事を進めている「東京レールゲート WEST」に隣接し、2棟を合わせた延床面積は合計約 247,428 m²となり、東京ベイエリア最大級の物流施設となります。

本件は、三井不動産株式会社を共同事業者とする事業スキームであり、テナントリーシングについては三井不動産株式会社で進めます。現在は複数フロア賃貸に関心ある顧客様を中心に物件紹介中で、小売、航空貨物、3PL 等の顧客様と商談をしております。

「東京レールゲート WEST」、「東京レールゲート EAST」と鉄道コンテナ輸送を組み合わせた物流サービスで、「JR 貨物グループ中期経営計画 2023」に掲げる「総合物流企業への進化」を実現してまいります。

1. 東京レールゲート EAST 概要（予定）

所在地	東京都品川区八潮3丁目（東京貨物ターミナル駅構内）
竣工	2022年8月
延床面積	175,379 m ² （53,052 坪）
賃貸面積	144,549 m ² （43,726 坪）
規模構造等	鉄骨造・地上5階建て／免震構造

2. 完成イメージ



※現時点での計画であり今後予告なく変更となる場合があります。

3、WTO 国際競争入札

本案件は、発注対象金額が WTO 政府調達協定で定める基準額 1,500 万 SDR（日本円換算：約 22.9 億円）を超過する見通しのため、実施設計・施工一括発注方式の国際競争入札により施工会社を選定します。